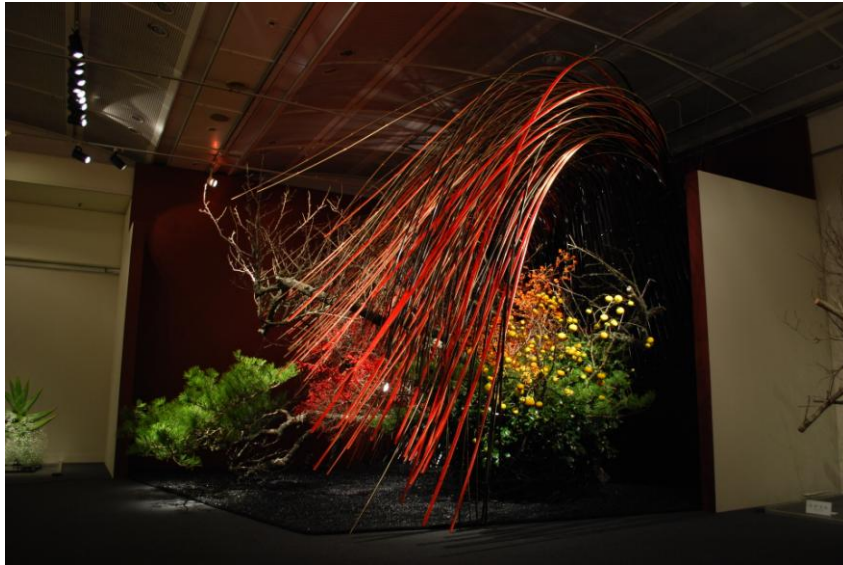


勅使河原茜をはじめ草月代表作家による
「第92回 草月いけばな展 -花遊ぶ」

2010年11月3日(水・祝)～8日(月)
日本橋高島屋 8階

いけばな草月流(本部:東京都港区赤坂)は、日本橋高島屋にて、草月流第四家元 勅使河原茜の作品と、代表作家による個人・合作を出品する「草月いけばな展—花遊ぶ」を開催いたします。



勅使河原茜 作品(第91回草月いけばな展「花笑み」) 2009年11月
(着色竹、苔梅、うめもどき、つるうめもどき、袖、みかん、椿)

1927年の創流以来、いけばな草月流は「自由」と「革新」をテーマに常にいけばなのイメージを覆す作品を制作し、新たな可能性を切り開いてきました。

第92回となる今回の草月展のテーマは、「花歌う」。作家は花と会話したり戯れたりしながら、花と見つめ合い、様々な思いを表現します。いけばな人にとって、展覧会は花と真剣に遊ぶ場です。そして花と一心に戯れる私たちの心のときめきを、皆さまに少しでもお伝えできたなら、という家元・勅使河原茜の願いが込められています。

家元・勅使河原茜は、高知県馬路村から提供された杉の間伐材を薄くスライスした自然素材「かなば」も取り入れて、作品を発表する予定のほか、出品作品はすべての個人・合作をあわせて約700点におよびます。個人作、合作、ジュニアクラス、初出品応援席(R席)、若い世代を盛り立ていくSYCエリア、昨年好評を博した吊り作品席に加え、「男子専科」を設立するなど男性のいけばなをいち早く取り上げた草月らしい「男性作家エリア」を設けます。

また、幼児教育に携わったキャリアをいかし、家元・勅使河原茜が3歳～高校生までの子どもたちにいけばなを直接指導する「茜ジュニアクラス」(1989年開講)からも、大人顔負けの個性あふれる作品を約30点発表いたします。さらに展覧会会期中に日本橋高島屋1階正面ホールとショーウィンドウ6面を勅使河原茜と他2名の作家が華やかに彩ります。

つきましては、この展覧会をぜひご紹介いただきますようお願い申し上げます。

草月いけばな展 開催概要

- 展覧会名 勅使河原茜をはじめ草月代表作家による
第92回 草月いけばな展 -花遊ぶ
- 開催日程 2010年11月3日(水・祝)～8日(月)
 - ・前期 2010年11月3日(水・祝)～5日(金)
 - ・後期 2010年11月6日(土)～8日(月)
- 開会時間 10時～20時
※ただし5日(金)、8日(月)は18時閉場予定
- 入場料 当日券 1000円(税込み) ※15歳以下の方は無料
- 展示会場 日本橋高島屋 8階
- 主催 財団法人草月会
- 一般の方からのお問い合わせ 財団法人草月会 事業部事業課 TEL:03-3408-1156

(以下に勅使河原 茜の言葉を記します)

『このたび、第92回目を迎える「草月いけばな展」を開催いたします。

日本橋高島屋での展覧会は、この1年間の研鑽の成果を問う場です。この1年、どのような思いで花と向き合ってきたのか。何を追求してきたのか。出品者一人ひとりが、それぞれのテーマに多彩な表現で挑む本展は、「草月の今」をもっとも鮮明に映し出す機会となっています。今回は新たに、ジュニアから大ベテランまで、「男のいけばな」作品を一堂に集めた「男性作家エリア」を設けます。昨年に引き続き登場する、SYC(草月ヤングチャレンジャーズ)エリア、吊り作品席とともに、草月の多様性を存分に感じ取っていただけるのではないのでしょうか。いけばな人にとって、展覧会は花と真剣に遊ぶ場です。花と一心に戯れる私たちの心のときめきを、皆様に少しでもお伝えできたなら、これに勝る喜びはありません。』

草月流家元 勅使河原 茜

● 勅使河原茜(てしがはら あかね)プロフィール

1960年に第三代家元で映画監督の勅使河原宏の次女として生まれる。祖父は初代家元の蒼風(そうふう)、叔母の第二代家元・霞からはいけばなの手ほどきを受けて育つ。多くのアーティストが絶え間なく出入りする芸術的環境の中で薫陶をうけた茜は、「自由な創造」を大切にする草月のリーダーとして、「いけばなは決して堅苦しいものではなく、現代を生きる私たちの身近な表現手段であることを多くの人たちに伝えたい」と、2000年から6年間にわたり東京・表参道で『草月・花 Avenue』を企画・プロデュース、また東京国際フォーラム、六本木ヒルズなどさまざまな空間で作品を発表し、新たないけばなの追究に意欲を見せている。さらに、いけばなを通じて子どもの感性を培うために「茜ジュニアクラス」を開講し、指導に力を注ぐ一方で、舞台美術、ジュエリーデザインをはじめ様々な分野に活躍の場を広げ、また、ダンサー、ミュージシャン、書家など他分野アーティストとのコラボレーションにも積極的に取り組むなど、みずみずしい感性で敏感に時代をとらえた独自の世界を築いている。

来年2011年には、家元継承10年を記念し、東京・青山の『スパイラル』において、自作陶器にいける個展を開催する予定。(2011年5月31日～6月5日/東京・青山『スパイラル』)

<ご取材について>

- ーご取材をご希望される方は下記 広報部までご連絡ください。
- ー尚、会場・作品の撮影につきましては高島屋様への事前申請が必要となります。撮影をご希望される方は、併せて広報部までご連絡ください。

Sogetsu Press Release

<本件に関するお問い合わせ先> 財団法人草月会 広報部 衣袋(イイ)

TEL. 03-3408-1158 FAX. 03-3405-4947 E-mail. pr@sogetsu.or.jp